

2025 4月

Vol.44

京丹波森林組合 も り 森林の便り

第70回通常総代会が開催されました。



森林環境教育/水源かん養機能の実験



森林環境教育/森林浴体験



更新伐施業中/森林研究・整備機構
森林整備センター 長瀬造林地



更新伐後/森林研究・整備機構
森林整備センター 長瀬造林地



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集:総務課



総代会が開催されました

令和七年度 第七十回通常総代会の開催

令和七年三月一日・午後一時三十分より、和知ふれあいセンターにおいて、第七十回京丹波森林組合通常総代会が昨年に引き続き、京都府南丹広域振興局長様をはじめ来賓皆さま並びに本人出席六十九名、代理出席三名、書面出席八十七名、計百五十九名の総代の皆様にご出席いただき、開催することができました。

はじめに、主催者を代表し樋口組合長より、本総代会開催のお礼と本会提出議案へのご審議をお願いする旨述べました。議長には、和知地区本庄の堀郁太郎様を選出され、総代の皆様には第一号議案から第九号議案の九議案につき慎重にご審議いただき、すべての議案が原案通り承認されました。

ご承認いただきました各議案は次のとおりです。



第1号議案

令和6年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認について

第2号議案

令和7年度 事業計画書承認について

第3号議案

- 令和7年度 取扱手数料、証明手数料徴収額及び徴収率決定について
- 1. 取扱手数料 資金取扱手数料 貸付元金に対し 年 0.50%
 - 森林整備補助金取扱手数料 補助金の 10.00%
 - 受託販売林産手数料 売上価格の 10.00%以内
 - 受託造成事業手数料 事業費の 15.00%以内

- 2. 一般証明、公簿閲覧料 1件 300円
- 但し、立本証明は一筆を増すごとに 100円
- 3. 林地評価手数料

評価額	手数料率	最高限度
100万円 未満	1,000分の10	8,000円
200万円	〃	12,000円
500万円	〃	25,000円
1,000万円	〃	40,000円
2,000万円	〃	60,000円
5,000万円	〃	100,000円
5,000万円 以上	2	

右記手数料以外に実費は徴収する。

- 4. 林地供給手数料 売主買主によりそれぞれ売買成立価格の 3.00%以内
- 5. 生産森林組合の事務委託料 年 30,000円以内
- 令和7年度 借入金最高限度額決定について 8,000万円以内
- 最高限度額 8,000万円以内
- 但し、制度資金を除く
- 余剰金預入先金融機関決定について
- 京都農業協同組合、京都銀行、京都北都信用金庫
- 令和7年度 理事14名の報酬額決定について 一金 950万円以内
- 令和7年度 監事3名の報酬額決定について 一金 50万円以内
- 一組合員に対する貸付金額の最高限度額決定について
- 一組合員に対し払込み出資金の20倍以内で200万円以内とする
- 定款の一部変更について

第4号議案

令和7年度 借入金最高限度額決定について

第5号議案

最高限度額 8,000万円以内

第6号議案

余剰金預入先金融機関決定について

第7号議案

令和7年度 理事14名の報酬額決定について 一金 950万円以内

第8号議案

令和7年度 監事3名の報酬額決定について 一金 50万円以内

第9号議案

一組合員に対する貸付金額の最高限度額決定について

主催者あいさつ



京丹波森林組合
代表理事組合長 樋口 義昭

本日、京丹波森林組合第70回通常総代会を開催いたしましたところ、京都府南丹広域振興局局長 古澤明様、京丹波町長 畠中源一様、京丹波町議会議長 梅原好範様、京都府森林組合連合会会長理事 青合幹夫様、その他多数のご来賓の皆様をお迎えして開催できますこと、心より感謝申し上げます。平素、ご来賓の皆様より賜っております格別のご指導・ご支援に對しまして、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

総代の皆様にも、年度末となり区の事業や農作業の準備等ご多用のところ、このように多くの総代様がお繰り合わせご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また昨年末からは次期の総代さんの選出にあたりまして、皆様に色々とお世話になりましたお陰で、どの選挙区におきましても、選挙をすること無く定数となり、4月からは新たな総代様にお世話になること

となりました。

さて、令和6年は年初めの能登半島地震、8月には日向灘の地震、そしてこの地震では南海トラフ巨大地震注意が発表され、9月には記録的な豪雨が能登半島の被災地を襲う等、自然災害が全国各地で発生した年でありました。また、アメリカ・ロサンゼルスでの大規模な山火事では、多くの住宅も焼き尽くされ、地球温暖化の影響により、火災がより激化したと報告もされております。また、岩手県大船渡市で2月26日に発生した山林火災では、懸命な消化活動が続けられています。約1400haが消失し、鎮火の目途も立たず延焼しています。この火災においても、地球温暖化による気候変動の影響で、2月の1ヶ月の雨量が平年の十分の一、そして2月の降雪量も2センチと平年の14センチを大きく下回っており、落葉樹の多いこうした地域では、落葉や枯れ枝が多く乾燥が続くことにより被害を拡大させていると

思われます。1日も早い鎮火を願いますと共に、被災者の方にお見舞いを申し上げます。

このような災害また自然災害は、何時・何処で発生するかわかりません。幸い京都府や京丹波町におきましては、昨年集中豪雨等により大きな災害の発生は有りませんでした。7月以降の連日の猛暑は、森林の中で作業を行います組合作業者も大変厳しい環境での作業となり、作業工程の見直しも行ったところでありました。

しかしこうした厳しい状況下であっても、常に国土の強靱化を図る防災・減災を優先する森林整備と治山対策は必要であります。当組合におきましては、令和3年度に「Think The Forest」（地球に生き 地域に生かされ 未来へ活かす！）をスローガンとした京丹波町の森林を対象とした「京丹波森林組合第2次中期計画」を立て、令和6年度も計画に基づき、組員皆様が所有される森林を対

象に、今必要とされる森林整備を京都府立林業大学卒業生8名を含むインターンでの就業者25名と地元出身者10名、この35名の現場作業者と職員、そして森林所有者の皆様のご協力を受け進めることができました。特に「伐って・使って・また植えて・育てる」循環型林業、そして森林経営計画認定森林において森林の機能保全を図る搬出間伐を進めることもでき、町内の森林より約1万2千㎡の木材を市場等へ搬出し、全ての森林所有者の皆様への利益還元とはなりませんでしたが、還元することができました。

とところであります。搬出材は市場での販売となり、収益については当時の契約に基づき森林所有者も受けられ、当組合も施業者として収益金を受けたところであります。

「伐って・使って・また植えて・育てる」循環型林業、そして森林経営計画認定森林において森林の機能保全を図る搬出間伐を進めることもでき、町内の森林より約1万2千㎡の木材を市場等へ搬出し、全ての森林所有者の皆様への利益還元とはなりませんでしたが、還元することができました。

このように先人の方々のお取り組みにより、長期の契約期間となる分収造林において所有する森林を有効に活かし、公益的機能森林として経営管理がされ費用負担をすることも無く、この度森林所有者と森林組合が収益を受けられたこと、また森林組合も施業者として技術が提供でき、循環型林業に向けて就労の場が確保できましたことは、今日の厳しい林業情勢の中で、今後の林業経営を図るにあたり大きな後押しとなりました。令和7年度においても引き続き分収契約に基づく皆伐施業が行われるよう、要望も行ったところであります。

そして町内の森林の約37%を占めております水源の確保や土砂崩れの防止等公益目的を持つ森林として指定されている保安林において、保安林としての機能が保全されるよう64年前の昭和36年より旧森林開発公団と森林所有者により分収造林契約が取り交わされ、スギ・ヒノキの植林と保育が進められ、町内で令和6年までに80箇所の契約地となり、今後も植林また保育施業の整備が進められます。そして令和6年度事業におきまして、京丹波町で初めて、53年前に契約されました造林地のスギ・ヒノキの皆伐が行われ、当組合も施業者となり伐採・搬出を行った

また森林の便りでもお知らせしていますように、京丹波町と連携しました森林環境譲与税等を活かしました、町内の小学生を対象とした森林環境教育も、取り組みを始めてから4年が経過し、小学校を卒業した子供達も中学生となり、中学校で行われている3日間の職場体験学習に小学校で学んだ環境教育を活かしたいと、当森林組合で

令和6年度におきましても、組員皆様をはじめ、京都府並び京丹波町また多くの関係機関の皆様のご指導ご支援を賜りまして、昨年12月末をもち令和6年度事業を当期剰余金896万円を計上し事業を締めくくることができました。そして昨年に続きこの3月にも京都府立林業大学校を卒業します学生の内1名が、4月より当森林組合へ入り京丹波町の森林で活躍してくれることになりましたこともご報告し、本総代会の提出議案につきまして、ご検討いただきご承認賜りますようお願い申し上げます。

本日は大変お世話になりますが、よろしくお願いたします。



令和6年度 決算 報告の概要

令和6年度 剰余金処分案

摘 要	小計 (円)	合計 (円)
I 当期末処分剰余金		12,877,723
II 剰余金処分額		6,800,000
法定準備金 (当期剰余金の1/5以上)	3,000,000	
出資配当金		
特別積立金		
施設準備積立金		
退任慰労積立金	800,000	
損失補填積立金	3,000,000	
III 次期繰越剰余金		6,077,723

貸借対照表

(令和6年12月31日現在)

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
資産の部		負債の部	
流動資産	394,808,774	流動負債	131,181,553
固定資産	41,083,900	固定負債	41,390,700
小 計	435,892,674	小 計	172,572,253
		純資産の部	
		出資金	70,608,600
		利益剰余金	192,711,821
		(当期剰余金8,961,111含む)	
資産合計	435,892,674	負債・純資産合計	435,892,674

損益計算書

(令和6年1月1日～12月31日)

科 目	金 額 (円)	一般事業 (円)		
		指 導	販 売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	317,073,660	0	12,020,379	305,053,281
事業費用	158,758,719	2,271,528	0	156,487,191
事業総利益	158,314,941	△ 2,271,528	12,020,379	148,566,090
II 事業損益				
事業管理費	151,751,452	19,727,685	4,552,539	127,471,228
事業利益	6,563,489	△ 21,999,213	7,467,840	21,094,862
III 経常損益				
事業外収益	3,287,625			
事業外費用	50,000			
事業外損益	3,237,625			
経常利益	9,801,114			
IV 特別損益				
特別利益	159,999			
特別損失	2			
特別損益	159,997			
税引前当期純利益	9,961,111			
法人税等	1,000,000			
当期剰余金	8,961,111			
前期繰越剰余金	3,916,612			
当期末処分剰余金	12,877,723			



(提出議案の採択状況)



新規採用者のご紹介



総務課 伊藤 貫太

2月より、お世話になっております伊藤貫太と申します。
総務課所属で、経理等を主に担当します。
大学進学やその後の就職では居住地が二転三転としておりましたが、改めて地元京都府で自然を生かした公益性の高い業務に取り組んでいこうと考えました。
大学時代も文系で、前職は学習塾及び旅行関係というところで、林業に関する知識や経験は乏しいですが、皆様と共に学んでいくことができれば幸いです。
何卒よろしくお願いいたします。



森林整備課 駿田 有為子
令和6年度京都府立林業大学校卒業生

この春から京丹波森林組合に勤めることになりました、駿田有為子と申します。
担当業務は、森林環境教育と森林経営計画に基づく間伐業務です。林業大学校入学を機に移り住んだ京丹波町で、子どもたちに森林の大切さを教えたり、山の保全に携われることを大変嬉しく思っています。
まだまだ学ぶことも多く、慣れないことばかりですが、一日でも早く力になれるよう努力してまいります。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度 事業計画

損益計画

(令和7年1月1日～12月31日)

科 目	金 額(千円)	一般事業(千円)		
		指 導	販 売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	345,750	0	10,127	335,623
事業費用	171,140	8,097	0	163,044
事業総利益	174,610	△ 8,097	10,127	172,580
II 事業損益				
事業管理費	174,042	22,624	5,220	146,198
事業利益	568	△ 30,721	4,907	26,382
III 経常損益				
事業外収益	680			
事業外費用	0			
事業外損益	680			
経常利益	1,248			
IV 特別損益				
特別利益	0			
特別損失	0			
特別損益	0			
税引前当期純利益	1,248			
法人税等	500			
当期剰余金	748			
前期繰越剰余金	6,077			
当期末処分剰余金	6,825			



損益及び取扱計画(部門別総損益)

(令和7年1月1日～12月31日)

区 分		金額(千円)	損益の算出基礎			
指導部門		収益 費用 損益	0 8,097 △ 8,097	指導費 間伐推進指導(負担金) 他 情報費 組合だより 他		
	販売部門	収益 費用 損益	10,127 0 10,127		素 材 9,490m ³ チップ 2,110t	
		森林整備部門	森林整備			収益 費用
利 用			収益 費用	120,119 42,652		
購 買	収益 費用		12,000 10,400			
金 融	収益 費用		0 0			
小 計	収益 費用 損益		335,623 163,043 172,580	森林土木工事収入 林道維持管理 調査収入 支障木伐採 等 補助金 立木調査 事務委託金収入 緑の担い手育成事業 他 利用雑収入 生森事務委託料 他 職員林産・作業 他		
総 計	収益 費用		345,750 171,140			
	事業純利益		174,610			

..... 林野庁職員が京丹波森林組合に来訪されました

女性理事就任・定着について

令和7年1月22日（水）に東京の霞ヶ関、林野庁より4名の担当職員が京丹波森林組合に来訪されました。

若年層や女性の参画を促進し、多様な意見を取り入れることで森林組合の活性化につな



がることが期待されていますが、女性理事が就任されている森林組合が全国的に1%にも満たないという現状（令和4年度森林組合統計より）から、継続的に女性理事が就任されている当組合の選出経緯や取り組み、また女性理事から意識の変化などの話を直接伺いたいと来訪されました。

当日はわち林業センター会議室で林野庁職員に加え、京都府担当職員、京都府森林組合連合会、京丹波町担当職員も同席して、3人の女性理事お一人づつに「就任後の意識の変化」などについて、意見を求められ、「自然災害などを見て、山が荒れてきている事を実感している所、山の現状を実際に見る事などが出来て大変勉強になる。」

「現場作業の危険性も感じる中、現場作業員の方と話す機会も勉強になります。」

「先祖が手がけた山が現在の技術で手入れされている事を知る事が出来、住んでいる地域の山を更に意識するようになりました。」などの意見交換をおこないました。

女性理事へのヒヤリングを終了した後、搬出間伐現場において、京丹波森林組合が誇るFK（現場技術者）による「山の匠」の伐倒技術、スイングヤーダやハーベスタ等の高性能林業機械の高度な操作技術を含めた搬出システムの現地視察を行いました。

●女性理事の選出歴

平成23年から平成26年まで		1名
平成26年から平成29年まで		2名
平成29年から令和2年まで		3名
令和2年から令和5年まで		3名
令和5年から		3名



インターンシップ研修生よりお礼の手紙を頂きました

京都府立林業大学校1年生 大山 龍貴 君

前略 この度のインターンシップ研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りや御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

京丹波町水原では、流木の除去の仕方や京丹波町小畑では、支障木の伐採方法について学ぶことができ貴重な経験となりました。

また、京丹波町坂原では、グラブルの動きを少なくスムーズに操作しながら、造材や仕分けが出来るのか、チェーンソーの目立て方法など多くのアドバイスを教えていただき、重機の操作やチェーンソーの技術面などの課題を見つけることができましたので、上達できるよう努力していきたいと思います。

今後は、京丹波森林組合様より御教授いただきました貴重な体験を糧とし、日々精進してまいりたいと存じます。今後とも、御指導くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴組合の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

草々

京都府立林業大学校1年生 熊田 安莉 さん

前略 この度のインターンシップ研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りや御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

3日目の支障木伐採では、学校の授業ではまだ実施していない広葉樹やツル絡みの木の倒し方について学ぶ事ができ、貴重な経験となりました。また、最終日の瑞穂農林の現場では、自分自身のチェーンソーの癖などを教えていただき、腕や肩への力のかけかたなど色々課題を見つけることができました。今後、アドバイスをしてもらったことに気をつけて、上達していけるよう努力していきたいと思います。

山の作業はまだ経験が浅く、御迷惑をおかけした時もありましたが、5日間を無事に終えることができましたのは、皆様方の御指導があつての事だと思っております。重ねてお礼申し上げます。

今後は京丹波森林組合様より御教授いただきました。貴重な体験を糧とし、日々精進してまいりたいと存じます。

末筆ながら、貴組合の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

草々

地域SDGs活動プラットフォーム ～スウェーデントーチ作り&植樹作業& クロモジ茶試飲&原木しいたけ収穫・試食～

地域活動やイベントを応援する京丹波町のプラットフォームで当組合が主催するイベントを行いました。その様子についてご紹介します。



(スウェーデントーチ作り)



(スウェーデントーチ)

まずはスウェーデントーチ作りに取り組んでいただきました。今回はスギの丸太をご用意し、斧や鉋で割って針金で結束し、簡易スウェーデントーチを作ってもらいました。その後、当組合で用意したスウェーデントーチに火をつけ、クロモジ茶の準備を行っている間にクヌギ苗の植樹をしていただきました。植樹は町有林の伐採跡地で行い、クワやスコップで一組7本ほど植えていただきました。



(クヌギ苗の植樹作業)



(しいたけステーキ試食)

植樹後はクロモジ茶を試飲しながら、原木しいたけの収穫・試食をしました。子どもたちも喜んで食べていて、収穫したしいたけの原木をお家でも栽培したいと持って帰られたご家族もいらっしゃいました。